



開知

令和6年10月30日号

佐世保市立世知原小学校
校長 兼 正晴

☆☆☆開知の学びが本格的に始まりました☆☆☆

10月10日(木) 授業研究 ●●●先生の授業でした。

算数「重さ」

「どれくらいの砂を入
れるといいかな…。」

1kgの砂袋を作
り、重さを体感し
ていました。

【今回の授業から】

- 活動しやすい場づくりをしましょう。
→事前の準備で活動をスムーズに行うことができます。
- 体験的な学習を大切にしましょう。
- 「めあて」の種類
(技能のめあて、主題のめあて、活動のめあて等)
※「まとめ」から「めあて」を考えるとよいでしょう。
- 「めあて」と「まとめ」の整合性を考えましょう。
- 「ふりかえり」…主体性を育てるものです。
 - ・調整力と粘り強さなどを評価します。
 - ・1時間の過程を振り返り、書くこと大切にしましょ
う。(学びの姿)
- 教師の言葉を減らしましょう。(指示や発問の精
選)→子どもたちの対話が増える授業を仕組みま
しょう。

☆「めあて」について

子どもたちが『めざす子どもの姿』
に向かって主体的に学んでいくため
には、解決する必然性のある教材や課
題に出会わせ、見通しをもって学習し
ていくことができる授業づくりが大
切です。

「今日は何をするのかな」という子
どもの意欲を大切に、子どもたち
が主体的に学ぶ授業づくりをする
ためには、学習のめあてを示すこと
が有効です。工夫しためあてを示す
と、教師も子どもも1時間の授業で
めざす姿をはっきりとイメージす
ることができます。

10月17日(木) 授業研究 ●●●●先生の授業でした。

算数「なんじ なんじはん」

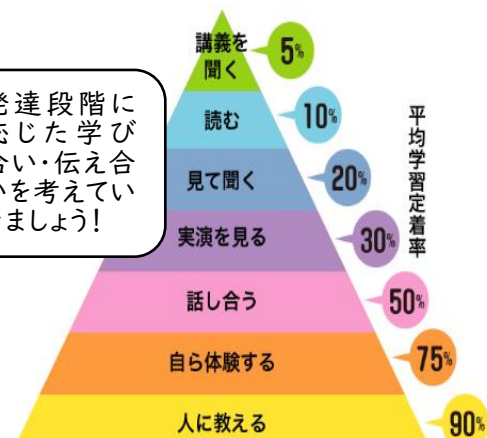
長い針、短い針を見て、時計がよめるようにがんばっています。

「なんじ」や「なんじはん」に何をしているのかを考えて、友達と交流しました。

【今回の授業から】

- 対話的な場面(時間)を増やしましょう。
→子どもたちが自分の言葉で伝えることが大切です。
※ラーニングピラミッド 参照
- 発達段階に応じた学び合い・伝え合いを考えましょう。
(例)・自分の考えを相手に伝える。【低学年】
・相談する。議論する。【高学年】
- それぞれの子どもたちが自分の学び方を自分で選
択できることを目指しましょう。学び方は、子どもに
よって様々です。
- 「話したい!」という意欲・気持ちを育てましょう。

☆ラーニングピラミッド



発達段階に応じた学び
合い・伝え合いを考えてい
きましょう!

アメリカ国立訓練研究所より

学習や生活の中で、子どもたちがこの
ような経験を積めるといいですね。

本校では、全学年の先生方が、授業研究に取り組みます。他の先生の授業を参観し、意見を述べ合い、研修を深め、普段の授業の充実に生かします。先生方も「開知の学び」を深めています。